



情報・プラットフォーム



想いを形に 想いを行動に



【特集】

事業戦略の
取り組み事例の
ご紹介



第11回
高知国際版画
トリエンナーレ展

高知家のものづくりを全力で応援します！

目次

■【特集】事業戦略の取り組み事例のご紹介	1
■ 第11回高知国際版画トリエンナーレ展	6
■ こちら高知県働き方改革推進支援センターです	8
■ 羽ばたく！高知のものづくり	9
■ 工業技術センターだより	10
■ ヒトが育てば、企業が育つ！高知県の人材確保 最前線	11
■ 紙産業技術センターNews	12
■ INFORMATION	13



公益財団法人高知県産業振興センター

〒781-5101 高知市布師田3992-2 高知県中小企業会館2階

TEL : 088-845-6600
FAX : 088-846-2556

高知県働き方改革推進支援センター(1F)

☎ 0120-899-869 (高知・幡多共通)
(幡多出張所：四万十市中村小姓町46)

よるず支援拠点(5F)

TEL : 088-846-0175

■ 総務企画部

- ・センターの管理・運営
- ・高知ちばさんセンターの貸出(外部委託)

■ 経営支援部

- ・中小企業の経営課題に関する窓口相談
- ・基金を活用した助成
- ・起業・創業への支援
- ・高知県地場産業大賞による顕彰
- ・中小企業者等の研究開発の支援
- ・ITを活用した販路拡大等の情報化支援
- ・企業のIT相談窓口
- ・賛助会員事業
- ・情報誌の発行

■ 高知県働き方改革推進支援センター(1F)

- ・来所、電話等による働き方改革に関する個別相談やセミナーの開催

■ よるず支援拠点(5F)

- ・中小企業・小規模事業者のワンストップ総合支援

〈ものづくり地産地消・外商センター〉

■ 地産地消推進部

- ・「ものづくり」に関する総合相談窓口
- ・「ものづくりの地産地消」の推進
- ・ものづくり総合技術展の開催
- ・事業戦略の策定・実行支援
- ・事業化プランの作成・実行支援

■ 外商部

- ・ものづくり企業の外商支援
- ・見本市への出展支援
- ・技術の外商支援、受発注取引商談会の開催
- ・防災関連産業の外商支援
- ・県外・海外への販路開拓支援

■ 東京営業本部

- ・首都圏等におけるものづくり企業の外商支援



東京営業本部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3

内幸町ダイビル8階
TEL : 03-6452-8830
FAX : 03-6452-8831



大阪事務所

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-6-8 センバ

セントラルビル1F 高知県大阪事務所内
TEL : 06-6244-7934
FAX : 06-6244-7933



名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-8

栄メンバーズオフィス8F 803号室
TEL/FAX : 052-684-4904

高知県産業振興センターでは、高知県産業振興計画の「地産」「外商」「拡大再生産」の強化の一環として、平成28年度から令和元年度までの4年間、機械金属系ものづくり企業を中心に「事業戦略の策定・磨き上げ・実行支援」を最重点施策として取り組みを進め、令和元年度末には202社が完成し実行段階に移っています。特集は、事業戦略実現に向けた県内企業3社の取り組みについてご紹介します。

事業戦略策定5年目

土佐の高知でえいもの（良い鋳物） 造るぜよ

株式会社トミナガ（高知市）

事業の見える化で進むべき 道筋の共有を

株式会社トミナガは創業61周年を迎えた鋳造（※1）製品を製作している企業だ。「品質第一」をモットーに鋳物（※2）から機械加工まで一貫生産できることが特徴で、当社製品は射出成型機や繊維機械などの産業機械分野から船舶業界、工作機械業界や公共事業まで幅広い分野に供給されている。

現社長である島田誠氏が3代目社長として就任したのは、日本経済が長らく停滞を続け、回復への道のりが不透明感を増す2013年。品質と生産効率の更なる向上を図り、企業として継続的に成長していくためには、会社方針や事業計画の明文化と社内での情報共有の強化が必要と常々考えていた島田氏は、社長就任によりこの思いを具現化していく。社内で事業計画を立て試行錯誤で進めていた社長就任3年目に、産業振興センターの事業戦略策定支援事業を知り、自社で進行している事業計画への客観的なアドバイスを期待し、当該事業へ参加した。



島田 誠 代表取締役

継続は力なり

策定から5年目に入った現在では、会社として「今何をすべきか」「将来どうしていきたいか」の共通認識が図れ、事業を進めやすい環境が整った。各部門の幹部を中心に課題改善が進み、若手社員は目標に対し意欲を持って取り組むようになった。生産性向上を図るた

めの工程改善や、ITを活用した製造方法の推進、顧客からの信頼向上を目指し品質保証の設備導入や人材育成も進めてきた。

島田社長は「経営者として、会社を守り、更に成長軌道に乗せるためには、従業員に対し会社の今置かれた状況をきちんと説明し、しっかり示す姿勢が必要不可欠だ」と言う。これまでの取り組みを振り返って思うことは、「頑張っても成果が出ない」を避けるには、自社の現実的な目標をしっかりと設定し、目標を達成するための手段を具体化することが重要だということ。会社全体のベクトルが合えば、あとはそれをコツコツと実践すればいい。

今後も、「品質第一」を実践し、更なる技術力の向上を目標に、新しい取り組みに挑戦していく。

（※1）高温で溶かした金属を、砂などで作った型の空洞部分に流し込み、冷やして固める加工方法。

（※2）鋳造でできた製品

自社製品「トミネコ」は、1998年ネコ型車止めとして作成された商品。現在は、当社のマスコットキャラクターとして活躍している。



MEMO



- 株式会社トミナガ
- 【代表取締役 島田 誠】
- 高知市布師田3981-5
- TEL 088-845-1122
- FAX 088-845-0800
- HP
- <http://ftm-tominaga.co.jp/>



事業戦略策定2年目

つなぐ ～金属と金属を、人と技術を、人から人へと～

第十工業株式会社(香南市)



若き溶接マイスター

人口が減少し人材確保が困難となりつつある中、次世代を担う人材の育成は、企業にとって重要な経営課題のひとつである。特に中小製造事業者においては、熟練技術者の高度なノウハウを若い技術者に継承し育成することは喫緊の最重要課題であるが、技術の向上と承継に積極的に取り組んでいる企業がある。

第十工業株式会社は平成18年に創業、平成21年に設立された会社だ。歴史は浅いが、極厚板溶接・ステンレス溶接・アルミ溶接の大型サイズの製造を得意としており、高い溶接技術が評価されている。特に、代表取締役社長である第十忍氏はこれまで幾度も高知県溶接技術コンクールでの優勝経験を持つなど、県内の溶接工の第一人者となっている。高知県の代表として、(一社)日本溶接協会が主催する全国溶接技術競技会にも出場しており、今年4月にはこれまでの功績が評価され、(一社)日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会から「溶接マイスター四国」の称号が授与されている。

43歳にしてマイスターの認定を受けた第十氏であるが、創業するまでの十数年間は県内の鉄工場に勤務してい

た。夜間は定時制の工業高校に通学しながら、日中は熟練の職人に囲まれ技能の習得に費やした。10代で若く、職人としての経験もなかった第十氏であったが、勤務先の社長が溶接業界の第一人者であったことや、職場自体が社員の技術力の向上に積極的に取り組んでいたこともあり、高い技術力を身に付けていく。転機は28歳の時、これまで培ってきた技術を用いて、新たな可能性にチャレンジしたいとの思いから、第十工業の前身となるDTメタルファクトリーを立ち上げ、3年後、第十工業を設立した。



〔令和元年度 高知県溶接技術コンクールの授賞式〕
第十氏(写真右)が優勝、取締役溶接部長の田内氏(写真左)が優秀賞を受賞した。第十氏は平成27・28・29年度でも優勝の実績をもっている。(R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止)



R2年4月 溶接マイスター四国の称号を授与された四国地区では22人目、高知県内では3番目の快挙



工場での溶接の様子。青白い炎がたちあがる

技術をつなぐ

金属と金属をつなぎ合わせる溶接は、モノづくりの現場で必要不可欠な基盤技術である。使用材質や溶接場所により手法が異なるため、高度な技術と高い知識力が求められる。昨今ではデジタル技術の進化にともない、溶接作業も半自動溶接や自動溶接へと進化しつつあるが、大物製品や小ロット品など、より高い安全性や品質が求められるような製品については、変わらず職人の技術が求められており、溶接技能の伝承は重要な責務となっている。当社においては、第十氏自身の経験と思いから、未経験者の人材採用も積極的に行っており、若い技術者や経験が浅い技術者には、社長を含めた製造部門の熟練技術者がマンツーマンで実践指導を進めている。第十氏が社員教育の過程で気を付けていることは、「考える力」を養うよう指導すること。溶接技術のみならず、標準的な作業場面や不規則な場面に遭遇した場面で、自分で工夫を凝らしカバーすることができる「対応力」が発揮できるように「思考力」の育成を意識したアドバイスをを行っている。



天井クレーンやアトラクション遊具など幅広い溶接実績をもつ

また、溶接技術の向上のため、毎年複数の社員が高知県溶接技術コンクールに出場しているが、製品の品質向上を図り、顧客からの信頼を高めるため、新たに非破壊試験技術者の資格取得の推進に取り組んでいる。溶接の品質は外観だけで判断することが難しく、溶接工の技術が品質に大きく左右するため、検査が非常に難しい。非破壊検査は機械部品や構造物の有害なクラックなどのきずを、対象物を破壊することなく検出する技術で、製造技術の不具合を正確に知り、製造工程へフィードバックすることで、製造技術の改良を図ることが可能となる。



超音波探傷試験の様子。内部きずの検出や厚さの測定に使用される。非破壊検査は検査用途に応じ、様々な検査手法が用いられる

第十工業が事業戦略で掲げた目標（企業理念）は、『常に技術の向上に挑戦し、お客様に満足していただける「ものづくり企業」となること』

若手はベテランの技能を、ベテランは更なる高みを目指し、技術をつなげていく。

MEMO

- 第十工業株式会社 【代表取締役社長 第十 忍】
【取締役会長 第十 寛】
- 本社：香南市香我美町上分1153番地7
- 吉川工場：香南市吉川町古川1383番地1
- TEL 0887-55-1222 ■ FAX 0887-55-1239
- <https://www.s10th.com/>



事業戦略2年目

屋根で人と企業を守る・金属屋根マスター

株式会社オガサ製工(高知市)



社員のみなさん。平均年齢は38歳と若く、資格取得に積極的に取り組んでいる。社員全員の保有資格は国家資格が5種、民間資格は42種類に及ぶ。

ピンチを転機に

株式会社オガサ製工は、創業以来50年以上金属屋根の施工一筋の会社で、屋根づくりから、屋根の修理・改修、アフターフォロー等、年間400件を超える施工実績をもつ金属屋根のスペシャリストである。

オガサ製工では、創業時から「存在しない部品は自分たちで作る!」というスタイルを受け継いでおり、オリジナルの屋根部品を使用した施工も得意としている。そうして蓄積された建築ノウハウを生かし、早急な雨漏り修理や暑さ対策などのニーズのほか、修理で業務を止めたくない等といった顧客の屋根に関する様々な要求に対応している。

小笠原社長が2代目として就任したのは、1996年のこと。それから12年後に発生したリーマンショックにより、突然メインの取引先2社が倒産するなど、売上が激減する事態に陥った。

そこで、社長は他社が敬遠する雨漏り修理のような難しい仕事へ事業の転換を行った。そして懸命に取り組んできた結果、危機を脱することができ、受注が急増。それに伴い従業員も増え、経営も安定してきた。しかし、売上こそ伸びているものの、利益は今ひとつの状態になっていた。

そんな中、会社の事業と方向性の明確化が必要だとも感じていた。その改善のきっかけとなったのが、産業振興センターが勧める事業戦略の策定だった。

まず、収益性の改善を図るために、内製化による外注費の削減を毎月の計画で重点的に取り組むようにした。内製化で課題となるのが、コスト削減等の効率化と、社内の人材育成である。

例えば、これまでは機械操作は2名体制が常識だったが、1名体制

でできないかと考えた。試行錯誤の結果、自分達で機械を改良し、1名でもできるようにした。

さらには、2019年の春、工場管理と加工専属として、異業種から未経験の女性をオペレーターとして1名配属した。社長曰く、「サービス業や小売業で培った商品管理や顧客の導線、店舗の商品配列などのノウハウを見込んで、当社に来てほしいとアプローチした」とのこと。



工場管理・加工専属の筒井みどりさん

誰でもできる化へ

その背景には、社長のある一つの考え方があった。「今までの業界の流れだと、ひとりで測量、図面作成、製作、そして取り付けと、一人前になるにはハードルが多くて、ものすごく時間がかかってしまう。そこで会社の中で、ベテランじゃないとできないという部分を小さくしていき、性別・年齢・経験が関係なくても誰でも取り組めるような職場環境に改善していかないと、これからの若手の採用はますます難しくなる」という思いがあった。

現在、工場管理と加工主任として活躍中の筒井さんは当初、社長に声をかけられ、「私にできるだろうか?」と思っていたが、その筒井さんに対し、「あなたが使い勝手が悪いとかしんどいと思うことを全部クリアしていく。あなたのためにもやけど、会社の未来のために、改善箇所を言ってほしい。あなたができないということは、誰もできないということ」と社長から説得され、様々な問題点を改善した。



自走組織への成長

こうした業務プロセスの改善によって、目に見えて外注費が下がり、利益の向上にもつながった。

また、事業戦略の進捗管理シートを月末ミーティングで定期的に活用するようになったことで、従業員との共有も図れ、従業員の意識改革にもつながった。



月末に実施している「改善ミーティング」と、毎週実施している「部門別チームミーティング」の様子。「改善ミーティング」は全社員が参加し、1カ月の間に毎日コツコツ書き出している気付きと提案を発表し、改善策をみんなで話し合いながら業務プロセスの見直しを行っている。

社長に事業戦略の策定前と策定後の変化についてお伺いしたところ、「事業戦略の策定前は、目標も漠然で、皆が口頭と感覚でやっていたので、成果も追えていなかった。結局は現状分析もできず、社長の感覚的なものに頼っていた。その感覚があまりずれていなかったということが、なかなか改善に至らない要因でもあった。また、今までは社長が全てにおいて最終チェックをしなくてはいけないのが常識だと思ってやっており、日々の忙しさに追われるものの、そこに目指すべき姿は見えていなかった。今考えたら恐ろしい。」と実感のこもった言葉が返ってきた。

「事業戦略の策定後は、現状の目指したいところがしっかり数値化でき、どこを重点的に改善したらいいのかが明確になった。トップダウンで社長が全部決めてやらないといけないところから、自分たちで回せる組織、“自走する組織”に変わりつつある。見える化、共有化がいかに大事か。言葉で言うのは簡単だが、ただ見える化して共有化してもそれを運用できないと意味がない。」と語る。

効率化から人材育成へ

そんな小笠原社長が今後目指すのは、問い合わせから提案までのリードタイムの削減である。

今までは現場調査をする際、安全面に注意しながらベテラン職人が屋根に上がって作業するなど、誰もができる仕事ではなかった。そこで、ドローンを併用した現場調査システムの導入を計画に盛り込むこととした。このシステムを導入すれば、例えば入社したての新人でも、技量を問わず調査を行うことができ、どんな現場でも誰もが対応できるようになる。この改善によって、余剰時間を人材育成に充てる。また特に社長が力を入れている“顧客とのコミュニケーション”の強化に生かし、顧客満足につなげたいと考える。

企業は人なりと考え、経営理念は「従業員が安心できる雇用を創出し、その企業力を全力で地域社会に役立てる」とし、今後も人を育てる企業を目指していく。

MEMO

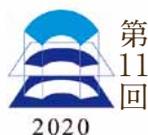
- 株式会社オガサ製工
【代表取締役 小笠原 孝彦】
- 高知市長浜3110-1
長浜産業団地内
- TEL 088-842-0791
- FAX 088-842-0794



【小笠原孝彦社長】
1,000日以上続く
社長の毎日ブログ



土佐和紙を世界へ!! 3年に1度開かれる世界有数の国際版画展



高知国際版画トリエンナーレ展

いの町 紙の博物館で開催中!!

会期

10月31日(土)~12月26日(土)

会場：いの町 紙の博物館

展覧会概要

- 主催：土佐和紙国際化実行委員会
- 会期：10月31日(土)~12月26日(土)
9:00~17:00まで
※入場は30分前まで
- 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
- 料金：一般500円(10名以上400円)
小・中・高校生100円
*未就学児 無料
65歳以上250円
- 会場：いの町 紙の博物館



高知 トリエンナーレ 検索



大賞

「rain sound II」 川村紗耶佳(日本)

※ご来場の際にはマスク着用をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染症拡大状況等により
開催期間が変更となる場合があります。

高知国際版画トリエンナーレ展とは？

1千年余の歴史を誇る土佐和紙の魅力を世界に向けて発信するとともに、版画文化のさらなる発展を願って企画されたのが「高知国際版画トリエンナーレ展」です。

日本の伝統的工芸品である和紙を世界中の人々に知ってもらうために、応募作品の素材は紙に限定。ぬくもりあふれる紙の上で豊かに表現される版画の世界は、トリエンナーレの名が示す通り、1990年の第1回より3年に1度開催されており、これまでに50カ国以上延べ12,400人から30,000点を超える応募があった、世界でも数少ない国際的な版画展の1つとなっています。実力ある作家が応募する公募展として海外からも注目を集めています。

11回目の開催となる本展では、世界各国より応募された1,019点の中から選ばれた入賞・入選作品101点を、いの町紙の博物館で展示しています。

世界レベルの版画作品を高知で鑑賞できるめったにない機会です。ぜひ土佐和紙の魅力とともにご堪能ください!

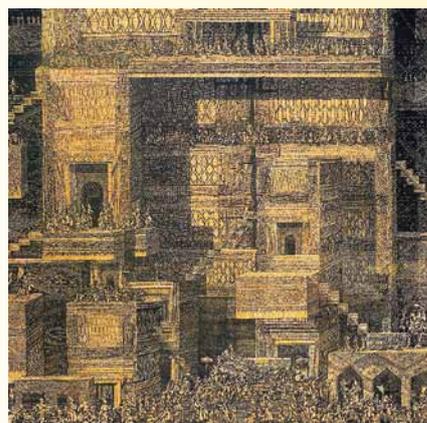
受賞作品



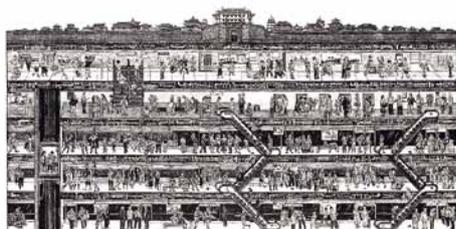
準大賞／「PARENTAL CONTROL」
KACPER BOZEK (ポーランド)



日和崎尊夫賞／
「海王の波嵐」
金子美早紀(日本)



準大賞／「Aesthetics of Culture No.2」
TEPPONG HONGSRIMUANG(タイ)



高知県立美術館賞／「CHANG'AN-XI'AN」
WEI HUA ZHOU(中国)



土佐和紙賞／
「シンδροームX 閉ざされた世界(II)」
徳廣秀光(日本)

その他、優秀賞3点・佳作賞10点

土佐和紙について

高知県の仁淀川流域は、日本三大和紙産地の一つとして高品質な土佐和紙を生産してきました。土佐和紙は、良質な原料や、優れた用具製作技術と高度な製紙技術、そして仁淀ブルーと称される水質日本一の仁淀川のきれいで豊富な水、といった和紙作りに欠かせない要素に支えられ本県の伝統的産業として発展してきました。特に、版画用和紙は、木版や銅版と相性がよく、その品質の良さから、北米やヨーロッパなどを中心に海外でも高い評価を得ています。

お問い合わせ

いの町 紙の博物館

住所：高知県吾川郡いの町幸町110-1
TEL：088-893-0886 FAX：088-893-0887
開館時間：9:00～17:00
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
HP：<https://kamihaku.com/>



土佐和紙の歴史や魅力を伝える施設。和紙作りの原料や用具、工程などを紹介するほか、伝統的技法の流し漉きの実演見学や、紙漉き体験のできるコーナーを備えています。また、書道用具や美術工芸品、各種紙製品の販売もしています。

こちら高知県働き方改革推進支援センターです

こんにちは。第7回は、「2021年4月以降に施行される働き方改革関連法等の主な内容」についてご紹介しますので、今一度ご確認ください。



全国社会保険労務士会連合会「働き方改革法改正で何がかわるの?同一労働同一賃金編」より抜粋、高知県働き方改革推進支援センター作成

当センターでは昨年4月からスタートした働き方改革関連法の内容や実務上の対応方法のご説明のほか、労務管理の方法や「時間外労働を削減したい」、「時間単位の年次有給休暇を考えてみたい」、「助成金を活用したい」などのご相談を魅力ある働く場づくりコーディネーター（全員が社会保険労務士）がお受けしています。本年度もお近くの商工会議所、商工会などでも定期的に相談会を開催しています。同一労働同一賃金への対応セミナーも11月から開催しますのでぜひご参加ください。

また、ワークライフバランス推進企業認証の取得を希望する企業様には、高知県働き方改革推進支援センターのワークライフバランス推進アドバイザー（全員が社会保険労務士）がアドバイスいたします。相談無料、秘密は厳守いたします。お気軽にご利用ください。

ご相談は→→(高知、幡多共通)



0120-8999-869

Mail:hatarakikata@joho-kochi.or.jp 【高知県働き方改革推進支援センター】

ホームページはこちら→



【お問い合わせ】(公財)高知県産業振興センター内 高知県働き方改革推進支援センター

□〒781-5101 高知市布師田3992-2 高知県中小企業会館1階 □開所時間: 8:30~17:15(土日・祝日、年末年始を除く)

幡多出張所 □四万十市中村小姓町46 中村商工会館2階 □開所時間: 8:30~17:15(月・水・金:ただし祝日、年末年始を除く)

見本市 オフィス防災 EXPO に出展をしました

東京営業本部 東京事務所 外商コーディネーター 千田 雅也

新型コロナウイルス感染症の影響により、春先に開催が予定されていた見本市が中止や延期となりました。

首都圏の見本市では、第14回オフィス防災EXPOが、幕張メッセで9月16日から9月18日に今年度初めて開催され出展しましたので報告します。

来場者数は、全参加者にマスク着用の徹底・非接触体温計による体温測定・全ての出入り口に消毒液の設置・ドアの開放と空調設備による常時喚気の実施による対策がとられていたものの、前回開催の60,662人から18,629人へと新型コロナウイルスの影響で大幅に減少しました。

また、県内企業の出展も、新型コロナウイルス感染症の影響で6社のパネル出展での参加のみとなりました。

今回は、このように、いつもとは様子が違う見本市でしたが、近鉄百貨店様もコラボする形で出展していただき、出展製品のPRに協力していただきました。

その結果、来場者数は昨年と比較すると減少しましたが、来場企業の防災備蓄担当の方々の関心は高く、今後につながる可能性は高いと感じており、外商コーディネーターが連携して成約につなげてまいります。

展示会出展企業・製品

- 関西仮設株式会社 全天候型仮設屋根
- 有限会社丸英製紙 簡易トイレ付超長尺トイレトーパー
- 株式会社フロムハート 備蓄用不織布毛布
- 株式会社マシユール 体調管理・行動記録MAMORITAI
- 関株式会社 感染リスクバスターKAIHI
- 有限会社四国浄管 間仕切りスペース
- 株式会社 レスキューリクエスト
- 有限会社四国浄管 災害トイレ2WAYS大地くん



今後 東京で開催される見本市

■ 新機能性材料展	東京ビッグサイト	2020年12月 9日(水)～11日(金)
■ 国際雑貨EXPO	幕張メッセ	2021年 1月27日(水)～29日(金)
■ 東京インターナショナル・ギフト・ショー	東京ビッグサイト	2021年 2月 3日(水)～ 5日(金)
■ 震災対策技術展 横浜	パシフィコ横浜	2021年 2月 4日(木)～ 5日(金)
■ 国際ホテル・レストラン・ショー	東京ビッグサイト	2021年 2月16日(火)～19日(金)
■ 建築・建材展2021	東京ビッグサイト	2021年 3月 9日(火)～12日(金)

今後とも上記、開催を予定していますので、出展のご希望や新たな販路拡大をお考えの企業様は、東京営業本部までお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】 (公財)高知県産業振興センター ものづくり地産地消・外商センター 東京営業本部

東京事務所 □〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル8階

□ TEL: 03-6452-8830 □ FAX: 03-6452-8831

大阪事務所 □ TEL: 06-6244-7934

名古屋事務所 □ TEL: 052-684-4904

東京営業本部

facebook

こちら→



プラスチック代替素材利用促進分科会開催のご報告

9月18日に、工業技術センターにてプラスチック代替素材利用促進分科会の会合を開催しました。この分科会は、生分解性プラスチック・バイオマスプラスチック・セルロース系素材など、環境に優しい素材を使った製品作りを支援するために今年4月に立ち上げ、現在13の県内企業に参加いただいています。

会合では、高分子材料の劣化に関する講座に加え、分科会参加企業同士の交流会を開催しました。短い時間ではありましたが、普段交流する機会がなかった企業同士が知り合うことができたようで、大賑わいの会となりました。

この分科会活動は競輪の補助を受けています。



「技術者養成講座」のお知らせ

機器分析概論-材料分析のための機器ガイド

品質管理や製品開発においては、材料を知ることが重要で、そのためには材料分析が役立ちます。この研修では、工業技術センターが日常業務で使用している分析機器や分析方法の事例に基づき、効率的に材料分析を行うための基礎知識が習得できます。

※本セミナーは講座DVDを配布して実施します。 <配布時期> 令和2年10月末～

機器分析概論-異物トラブル対処法

この研修では、正しい異物のサンプリング(採取と保存)と機器分析による原因究明の基礎知識を学び、迅速な解決につなげるトラブル対処法の基本が習得できます。

<日時> 令和2年11月25日(水) 15:00～16:00

分科会活動③不織布産業の最近の課題に関するセミナー

不織布は機能性材料として注目されています。不織布の90%以上は各種の産業で用いられており、生産量は世界的にも右肩上がり、10年先には代表的な布である織物の生産量を超えると予想されています。

本セミナーでは、不織布産業の現況と各種の不織布製造方法の特徴、不織布産業の最近の課題である海洋プラスチック問題、プラスチックフリー問題、セルロースナノファイバー(CNF)の取り込み、容器・包装リサイクル法や食品衛生法の改正への対応などについて解説します。

<日時> 令和2年11月27日(金) 13:30～15:30

<講師> 信州大学繊維学部不織布共同研究講座 特任教授

日本不織布協会顧問、日本繊維機械学会フェロー、不織布研究会委員長 矢井田 修

研究開発&企業支援成果報告会を開催しました

工業技術センターでは、地域産業の発展に貢献することを目的として、商品開発及び県内企業の技術力向上を目指した取り組みを進めています。そして、その成果は毎年開催している『研究開発&企業支援成果報告会』でご紹介しています。今年も9月1日(火曜日)に昨年度の成果を中心に、広報・普及を目的とした報告会を開催し、45人の方にご参加いただきました。今回は、その概要についてお知らせします。

今年度は篠原所長による特別講演「材料の加飾技術開発から現在まで」と食品開発課、資源環境課、生産技術課の各課から2課題ずつの全7課題についての発表を行いました。また、休憩時間には、開発に関わった事例等を紹介したポスターや展示品をご覧いただきました。



特別講演



展示



口頭発表



質疑応答

【お問い合わせ】  高知県工業技術センター  Kochi Prefectural Industrial Technology Center 088-846-1111

お気軽にお問い合わせください。受付時間[平日 8:30～17:15] 最新情報はホームページをご覧ください。

HP [https://www.pref.kochi.lg.jp/itc/] Mail [151405@ken.pref.kochi.lg.jp]



メール送信にご利用ください。



ヒトが育てば、企業が育つ！

高知県の人材確保 最前線

「オンライン高知就職・転職フェア2020冬」が始まりました。

来年2月末まで開催、申込受付中

11月6日より、高知求人ネットWeb特設サイト上で、「オンライン高知就職・転職フェア2020冬」を開催しています。開催期間は来年2月末まで。期間途中からの出展や、採用が決定した場合の途中出展終了も可能としています。

企業が出展するための主な条件は、①高知求人ネットに求人登録していて②オンライン面談が実施できる環境が整っていて③公開できる企業紹介動画があること。

今回はWeb上での開催ですので、従来よりも多くの企業にご出展いただくことができ、しかも移動等にかかる交通費用はかかりません。今からでも上記の①～③を用意いただける企業は、是非、ご参加ください。

■ キャリアコンサルタントがナビゲート

この夏開催したオンライン就職・転職フェアでは、Web面談を申し込んだ方のほとんどが、事前に当センターのキャリアコンサルタントに相談をしていました。「貴方にはこの企業がおすすめ!」と背中を押してあげることによって効果があるようです。

そこで今回は、Webサイトを見ていただいた方に、まずは私達キャリアコンサルタントに相談をしていただくというフローにしました。相談は電話やメールだけでなく、東京、大阪、名古屋、広島、高松での個別相談会を複数回実施して対面相談の機会を増やします。

Uターン・Iターンして高知県で働きたいと思っている方のキャリアやスキル、希望条件を、私達が事前に把握したうえで、マッチングの可能性がある企業とのオンライン面談へと誘導することによって、より多くのよい出会いをつくりたいと思っています。

2020年10月～2021年2月、センター職員(キャリアコンサルタント)による個別相談会を全19回、定員およそ200名規模で実施します。

東京5回、大阪6回、名古屋3回、
広島2回、四国内3回



「オンライン高知就職・転職フェア2020冬」
出展企業とのWEB個別面談に誘導します。

■ コロナ禍以降の採用活動

「まだオンライン面談環境を整えていない」、「企業紹介動画がない」という企業もあると思います。しかし、コロナ禍により一変した採用市場では、それらの用意がないという時点で応募対象から外れてしまう可能性は十分にあります。是非、この機会に環境を整えていただくことをお勧めいたします。



11/6(金)～2/28(日)

このフェアの特徴

- ①企業の魅力が5分でわかる動画配信!
- ②自宅から高知県の企業と繋がる!
- ③キャリアコンサルタントのナビゲートあり!



企業向け募集要項は
こちら!



【お問い合わせ】 一般社団法人 高知県移住促進・人材確保センター

☎ 780-0870 高知市本町4-1-32 こうち勤労センター5階 ☎ TEL: 088-855-6648(代表)

✉ メール: jinzai@iju-jinzai.kochi.jp



新規導入設備について

昨年度新規に導入された「SDRラボリファイナー」を紹介します。本装置は、製紙用パルプに対し優れた離解・叩解効率を発揮する小型リファイナーです。

直結型ラボリファイナー SDR-14型



【型式】直結型ラボリファイナー

SDR-14型

(相川鉄工株式会社)

【仕様】解繊方式：シングルディスク

リファイナー方式

ディスクサイズ：14インチ

タンク容量：100リットル

刃物隙間調整装置付き

用途：各種製紙用原料の離解、叩解

※当センターでは、依頼試験として本装置の利用を受け付けています。

異物分析担当者実践コース研修を開催しました

令和2年7月から10月までの月1回計4回、当センターにおいて9社9名の方が参加し、異物分析に使用する機器の特性理解や取扱方法、異物分析による異物の特定、原因追及、対策に至るまでの考え方を研修しました。新型コロナウイルス感染症に対応した環境の中、参加者からは、「今回の研修で正しい手順等を知ることができ、今後の問題解決に大変役立つものとなりました」「異物分析方法等も分かりやすく説明していただき、とても勉強になりました」などの所感をいただき、好評を博しました。



分析機器の座学



分析機器の操作実習

【お問い合わせ】 紙産業技術センター企画調整室 088-892-2220

区分	日時	名称	場所
セミナー	11月13日(金) 13:30~15:00	Youtubeのはじめかた！〈初級編〉	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	11月20日(金) 13:30~15:00	無料で使える！ Googleアナリティクス 〈設定編〉	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	11月20日(金) 14:00~16:00	令和2年度第3回事業戦略セグメント別 セミナー（製造部門） 「生産管理業務の改善とシステム化の進め方」	ざばさんセンター2階 研修室1
セミナー	11月25日(水) 13:30~15:00	Canvaでアイキャッチ画像をつくろう 〈初級編〉	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	11月25日(水) 10:00~16:00	GoogleAnalytics ビジネス活用セミナー	オンライン開催 ※新型コロナウイルスの状況が緩和されれば下記会場にて開催します。変更となる場合は、ホームページ・メールでご案内させていただきます。 ざばさんセンター2階 研修室1
セミナー	12月2日(水) 13:30~14:30	集客に活用しよう！ Googleマイビジネス入門	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	12月2日(水) 14:00~15:30	令和2年度第4回事業戦略セグメント別 セミナー（研究開発・設計部門） 「企画を具現化し、市場に売り込む 開発設計から考える製品企画のポイント」	ざばさんセンター1階 多目的ホール
セミナー	12月9日(水) 13:30~16:30	中小企業のための AI活用セミナー	オンライン開催 ※新型コロナウイルスの状況が緩和されれば下記会場にて開催します。変更となる場合は、ホームページ・メールでご案内させていただきます。 ざばさんセンター2階 研修室1

【お問い合わせ】 高知県産業振興センター 088-845-6600

セミナーなどは事前に申し込みが必要です。受付方法やその他の詳細については、お問い合わせください。

（公財）高知県産業振興センター正職員募集のお知らせ

公益財団法人高知県産業振興センターでは、当センターの職員を募集しています。

- 募集職種 一般職(中小企業等支援業務、経理業務等全般)
- 採用予定人員 1名
- 募集締切日 令和2年11月19日(木)
- 受験資格 学校教育法による大学、短大、専修学校専門課程、高等専門学校(5年制)の卒業生(令和3年3月までの卒業見込み者を含む)
- 年齢要件 30歳未満の人(令和3年4月1日現在)
- 試験日
 第一次試験 教養試験、適性検査、小論文 (令和2年11月29日(日))
 第二次試験 面接試験 (令和2年12月20日(日))
 第三次試験 最終面接試験 (令和3年1月10日(日))
 ※試験会場は、いずれも高知県産業振興センター
- 募集案内配布場所 (公財)高知県産業振興センター、(公財)高知県産業振興センター東京営業本部、高知県庁県民室、高知県商工労働部商工政策課、高知県東京事務所、高知県大阪事務所、高知県名古屋事務所
 ※下記の当センターのホームページからもダウンロードできます。
- 採用予定日 令和3年4月1日

公益財団法人高知県産業振興センター 総務企画課

〒781-5101 高知県高知市布師田3992番地2

電話 088-845-6600

ホームページ <https://www.joho-kochi.or.jp/>

あなたの アイデアやものに 財産的価値が あるかも!?



秘密
厳守

相談
無料



- 知的財産の初歩からご説明
- 弁理士や弁護士などの専門家から無料でアドバイス
- あなたの会社にもお伺いして支援も可能

海外展開・契約・秘密管理などでも知的財産は重要です!

★派遣専門家による支援

必要に応じて、デザイン専門家、ブランド専門家、知財専門家、中小企業診断士等の専門家を現地に無料で派遣しています。

◎配置専門家相談予定(相談時間 13:00-17:00)※変更になる場合がございますのでご了承ください。

11月予定日	専門家
11月6日(金)	城田弁理士
11月10日(火)	中越弁理士
11月13日(金)	橋本弁理士
11月18日(水)	武田弁護士
11月20日(金)	中越弁理士
11月24日(火)	下方弁理士
11月27日(金)	下方弁理士

12月予定日	専門家
12月1日(火)	中越弁理士
12月2日(水)	中橋弁護士
12月4日(金)	城田弁理士
12月11日(金)	橋本弁理士
12月15日(火)	下方弁理士
12月18日(金)	中越弁理士
12月25日(金)	下方弁理士

お気軽に
お電話を!

お問い合わせ先

INPIT 高知県知財総合支援窓口

窓口開設時間 / 9:00~17:00
(土日・祝日・年末年始を除く)

TEL & FAX **088-854-8876**

E-mail: info@jiii-kochi.jp

★詳しくは HP をご覧ください。

窓口支援担当者: 柏井富雄 / 畠山佳子
相談対応者: 久保純 / 福井千賀

高知知財窓口



【運営機関】

一般社団法人 高知県発明協会

〒781-5101 高知市布師田3992-3 高知県工業技術センター内

(独)工業所有権情報・研修館事業